

岡山労働局  
令和3年12月7日発表

【照会先】

岡山労働局 労働基準部 監督課  
課長 山口 昌平  
上席監察監督官 貞宗 恵治  
(電話) 086(225)2015

## 令和2年における監督指導結果を公表

～違反率は若干下がるも、約7割と高止まり～

岡山労働局(局長 内田敏之)は、令和2年における県内6つの労働基準監督署が実施した監督指導の結果について取りまとめを行いましたので、公表します。

各労働基準監督署においては、労働条件をめぐる問題点を的確に把握しつつ、効果的な監督指導を実施し、法令違反等を確認した場合には各事業場に対し是正・改善を指導しています。

また、重大・悪質な法令違反が認められた事業場に対しては、送検手続をとるなど厳正な対応を図っています。

### 【令和2年における岡山労働局管内の監督指導結果のポイント】

#### 1 定期監督等<sup>※1</sup>の状況

(1)定期監督等を実施した事業場 2,199 事業場  
そのうち、法令違反が認められた事業場 1,520 事業場(違反率 69.1%)

資料1-1参照

#### (2)主な項目別の違反状況

① 労働時間(違法な時間外労働時間があったもの等) 371 事業場(違反率 16.9%)  
② 健康診断(定期健康診断の未実施等) 346 事業場(同 15.7%)  
③ 割増賃金(割増賃金の全部又は一部不払等) 285 事業場(同 13.0%)  
④ 労働条件の明示(雇入通知書の未交付等) 251 事業場(同 11.4%)

資料1-2参照

#### (3)業種別の違反状況

違反率を主な業種別に見た場合、高い順に、接客娯楽業(81.4%)、運輸交通業(77.8%)、製造業(73.7%)、商業(73.3%)となっている。

資料1-3参照

#### 2 申告処理<sup>※2</sup>の状況

申告処理事業場数は 372 事業場で、対前年比で 43 件減少した。

また、申告の内容別では「賃金不払」が 268 件と最多であり、対象事業場を業種別に見た場合、建設業が最多で、次いで商業、運輸交通業及び接客娯楽業などが多くなっている。

資料2参照

※1 「定期監督等」とは、各種の相談・情報等に基づき、又は労働災害の発生等を契機として、労働基準監督官が各事業場に対し計画的に実施する立入調査等をいいます。

※2 「申告処理」とは、労働者(退職労働者を含む。)が労働基準監督署に対し、労働基準関係法令違反の是正を求めて申告したことに基づき、労働基準監督官が当該事業場に対し立入調査等を行う処理をいい、上記の定期監督等には含まれません。

## 労働条件や働き方改革関連法に関する相談先

労働条件や働き方改革関連法に関する相談については、各労働基準監督署に設置された「労働時間相談・支援コーナー」のほか、「岡山働き方改革推進支援センター」（厚生労働省岡山労働局委託事業）、労働条件相談「ほっとライン」（厚生労働省委託事業）もご利用いただけます。

また、関連するサイトとして、働き方改革関連法の解説や取組事例を掲載している「働き方改革特設サイト」、36協定や就業規則の作成支援、事業者のための労務管理・安全衛生管理診断等を行っている「スタートアップ労働条件」も開設しております。

### ■ 岡山働き方改革推進支援センター

岡山市北区厚生町3丁目1番15号

岡山商工会議所ビル1階

フリーダイヤル 0120-947-188



### ■ 労働条件相談ほっとライン

フリーダイヤル 0120-811-610

（平日の夜間、土曜・日曜・祝日に無料で電話相談に対応）

（関連サイト）

### ■ 働き方改革特設サイト

<https://www.mhlw.go.jp/hatarakikata/>



### ■ スタートアップ労働条件

<https://www.startup-roudou.mhlw.go.jp/>



## 1 定期監督等の状況

## (1) 違反率の推移

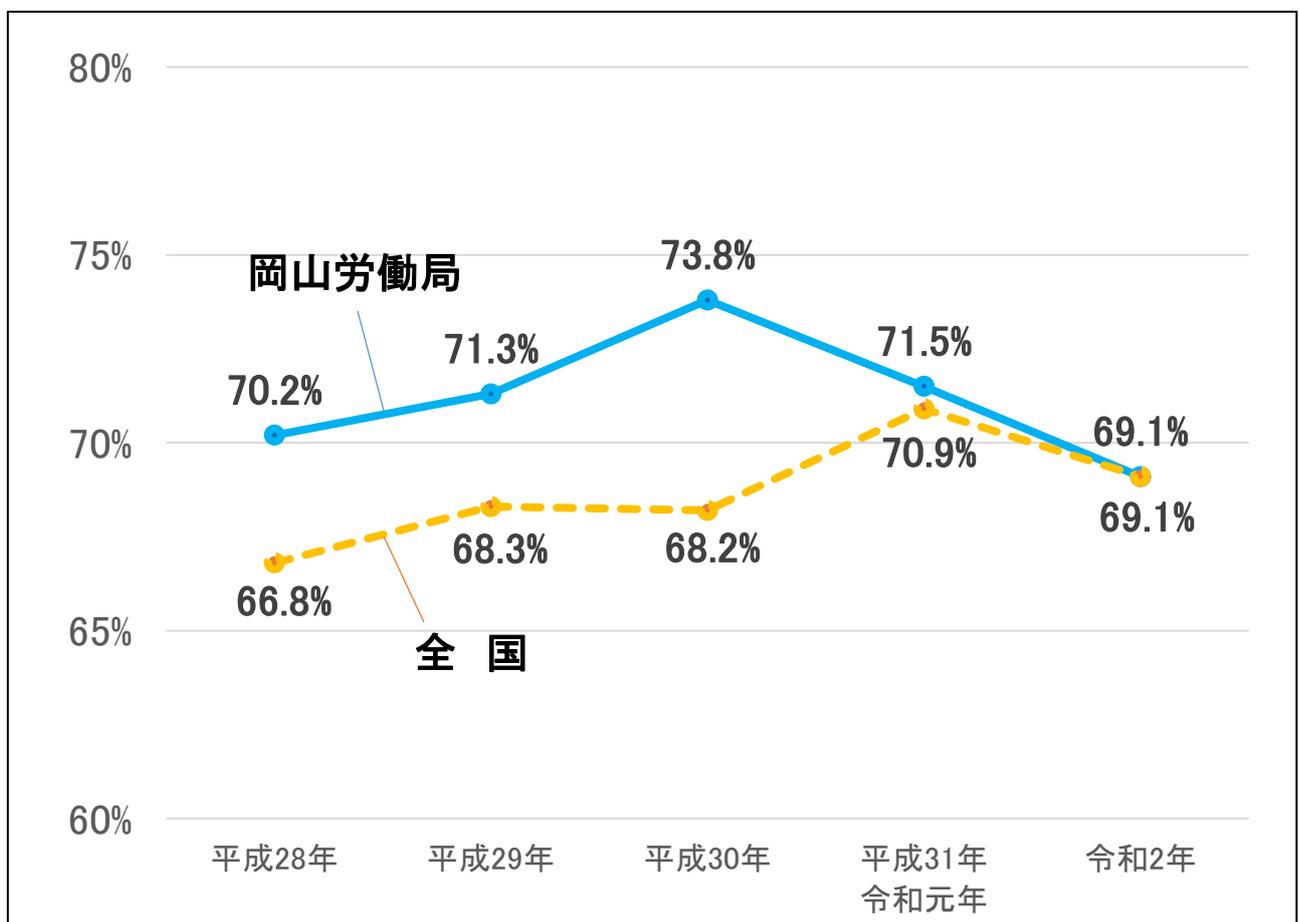
直近5年間における定期監督等の違反率の状況は、【表1】・【グラフ1】のとおりであり、令和2年における岡山労働局管内の各労働基準監督署が実施した定期監督等の合計は、2,199件、そのうち労働基準関係法令違反が認められたものは、1,520件で、違反率は69.1%（対前年比で2.4ポイントの減少）となった。

違反率の全国平均は同じく以下のとおりで、従来、岡山労働局の違反率は全国平均を上回っていたところ、令和2年においては、ほぼ同水準となった。

【表1】 定期監督等の違反率の推移

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年		
					違反率 (B/A)	監督実施 事業場数 (A)	違反 事業場数 (B)
岡山労働局	70.2%	71.3%	73.8%	71.5%	69.1%	2,199	1,520
全 国	66.8%	68.3%	68.2%	70.9%	69.1%	116,317	80,335

【グラフ1】 定期監督等の違反率の推移



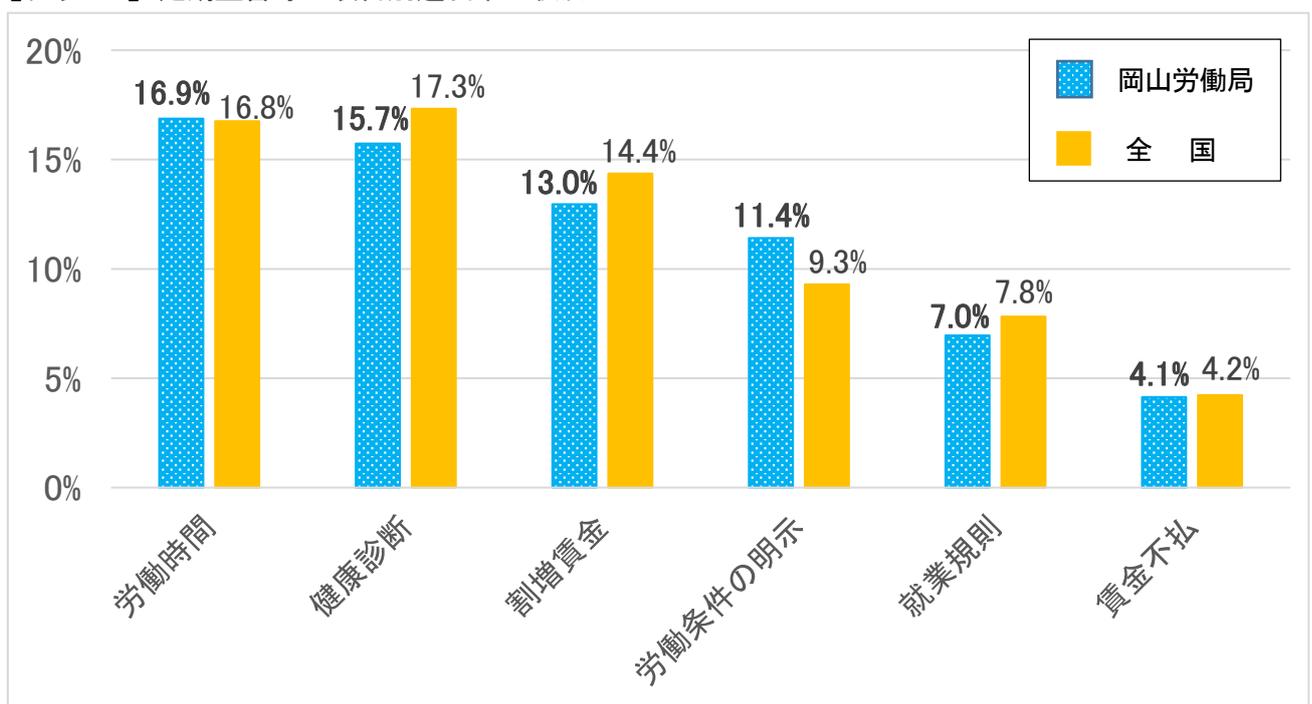
## (2) 主な項目別の違反状況

令和2年における定期監督等の実施結果について、主な項目別の違反状況は【表2】・【グラフ2】のとおりであった。

【表2】 定期監督等の項目別違反率の状況

主な項目〔違反事例〕	岡山労働局		全 国	
	違反事業場数	違反率	違反事業場数	違反率
①労働時間 〔・36協定なく時間外労働を実施 ・36協定の上限を超えて時間外労働を実施〕	371	16.9%	19,493	16.8%
②健康診断 〔・定期健康診断の未実施 ・健診有所見者に対する医師からの意見未聴取〕	346	15.7%	20,153	17.3%
③割増賃金 〔・割増賃金の全部又は一部不払 ・割増賃金算定基礎への手当の未算入〕	285	13.0%	16,701	14.4%
④労働条件の明示 〔・雇入通知書の未交付 ・明示すべき事項の一部記載漏れ〕	251	11.4%	10,817	9.3%
⑤就業規則 〔・就業規則の未作成 ・就業規則の監督署への未届出〕	153	7.0%	9,088	7.8%
⑥賃金不払 〔・定期賃金の一部不払 ・労使協定なく定期賃金からの一部控除〕	91	4.1%	4,926	4.2%

【グラフ2】 定期監督等の項目別違反率の状況



## (3) 業種別の違反状況

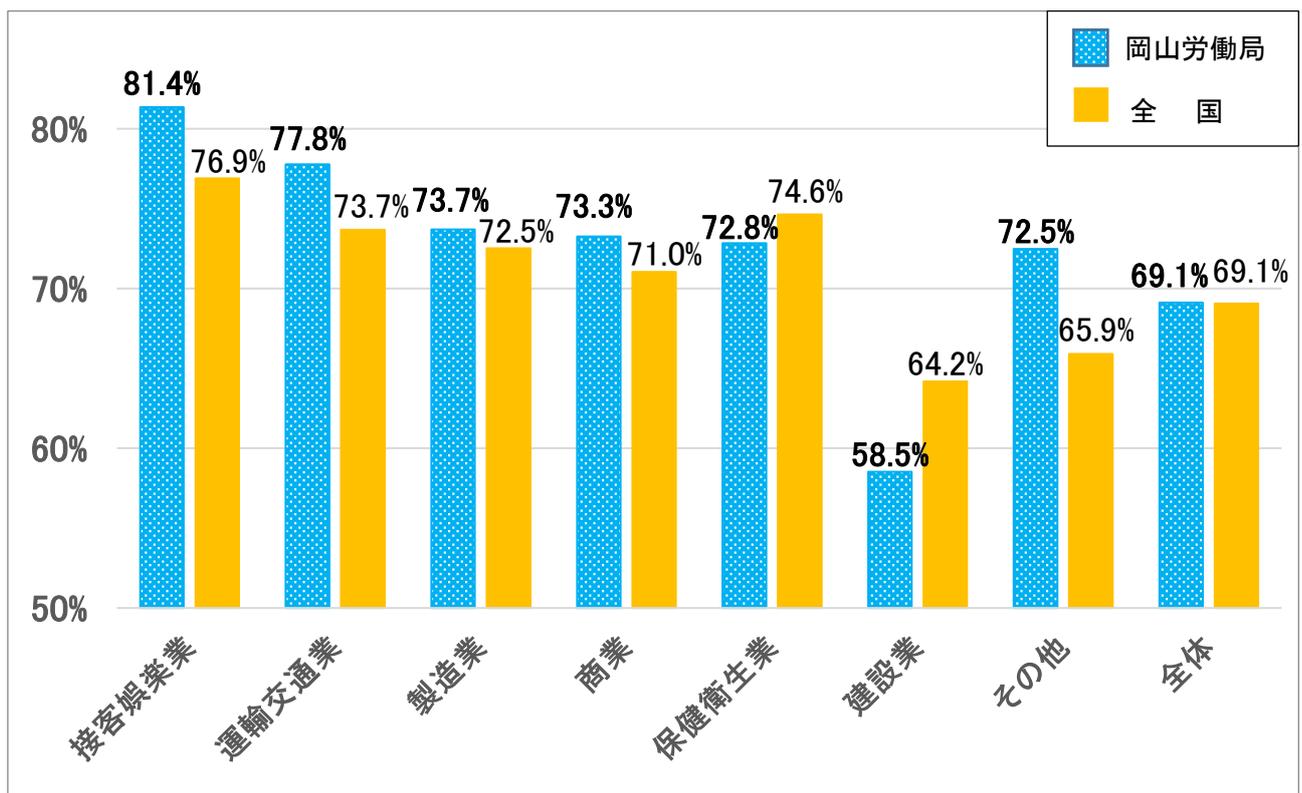
令和2年における定期監督等の実施結果について、業種別の違反状況は【表3】・【グラフ3】のとおりであった。

【表3】 定期監督等の業種別違反率の状況

		接客娯楽業	運輸交通業	製造業	商業	保健衛生業	建設業	その他	全体
岡山労働局	監督実施事業場数 (A)	118	90	631	374	81	716	189	2,199
	違反事業場数 (B)	96	70	465	274	59	419	137	1,520
	違反率 (B/A)	81.4%	77.8%	73.7%	73.3%	72.8%	58.5%	72.5%	69.1%
全国	監督実施事業場数 (A)	6,900	4,803	27,992	17,106	5,830	40,430	13,256	116,317
	違反事業場数 (B)	5,306	3,539	20,302	12,152	4,351	25,950	8,735	80,335
	違反率 (B/A)	76.9%	73.7%	72.5%	71.0%	74.6%	64.2%	65.9%	69.1%

(注)「接客娯楽業」は主に飲食店、ホテル・旅館業等を、「運輸交通業」は主に道路貨物運送業、バス・タクシー業等を、「商業」は主に卸・小売業、理・美容業等を、「保健衛生業」は主に病院・診療所、社会福祉施設等をいう(以下同じ)。

【グラフ3】 定期監督等の業種別違反率の状況



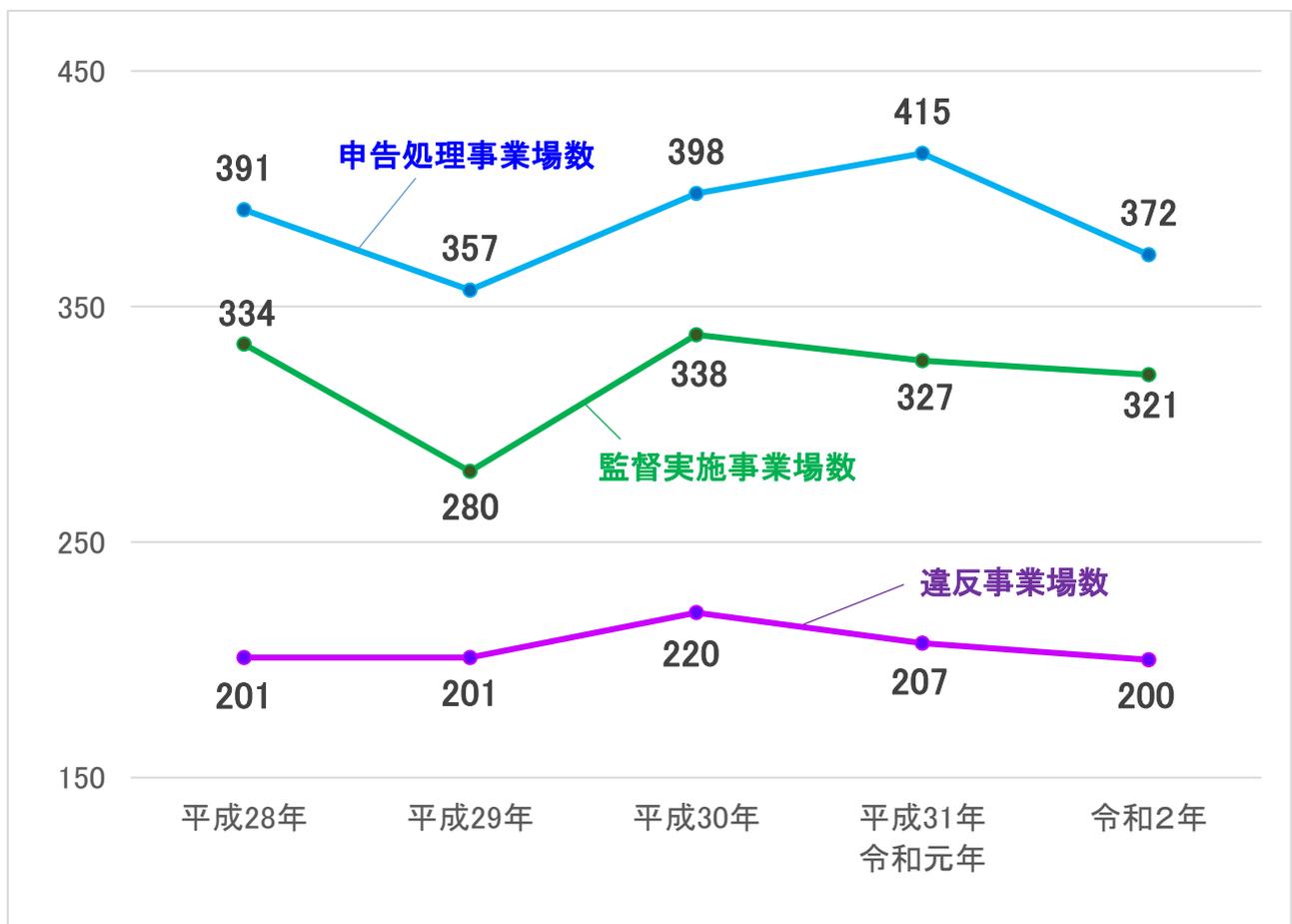
## 2 申告処理の状況

直近5年間における岡山労働局管内の申告処理の状況は、【表4】・【グラフ4】のとおりであり、令和2年に労働者(退職労働者を含む。)からの申告に基づき処理に着手した申告処理事業場数は372件(対前年比で43件の減少)で、そのうち監督指導を実施した事業場数は321件、その結果、法令違反が認められた違反事業場数は200件(違反率62.3%)であった。

【表4】岡山労働局の直近5年間における申告処理の状況

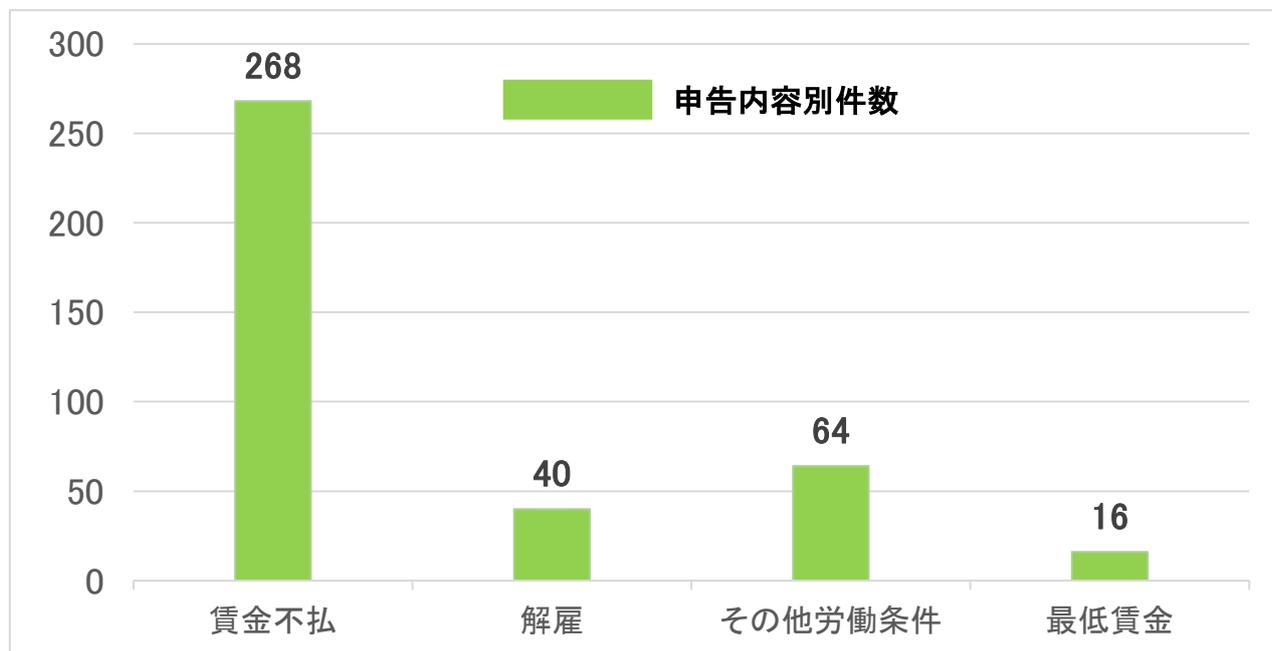
	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
申告処理事業場数	391	357	398	415	372
監督実施事業場数(A)	334	280	338	327	321
違反事業場数 (B)	201	201	220	207	200
違反率 (B/A)	60.2%	71.8%	65.1%	63.3%	62.3%

【グラフ4】岡山労働局の直近5年間における申告処理の状況



また、令和2年における申告内容別の件数については、【グラフ5】のとおり、「賃金不払」が 268 件と最も多く、賃金不払以外では「解雇」が 40 件、「その他の労働条件(=労働条件の明示、年次有給休暇、就業規則等)」が 64 件、「最低賃金」が 16 件であった。

【グラフ5】岡山労働局の令和2年における申告内容別件数の状況



さらに、令和2年における申告処理事業場を業種別に見た場合、【グラフ6】のとおり、建設業が 70 件(全体の 18.8%)で最多となっており、次いで商業が 60 件(同 16.1%)、運輸交通業及び接客娯楽業がともに 49 件(同 13.2%)などとなった。

【グラフ6】岡山労働局の令和2年における申告処理事業場の業種別状況

